

みんなのギカイ

3月議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

予算……………	P1～
委員会……………	P2～
一般質問……………	P4～
きかせてあなたの未来 ……………	P11

3月定例会

宇陀市のこんなことが
決まりました。

3月定例会 3月3日～3月25日
今回の議案は

市長提出議案… 31議案
人事…………… 3議案

今号では
この中から
5つを
Pick up

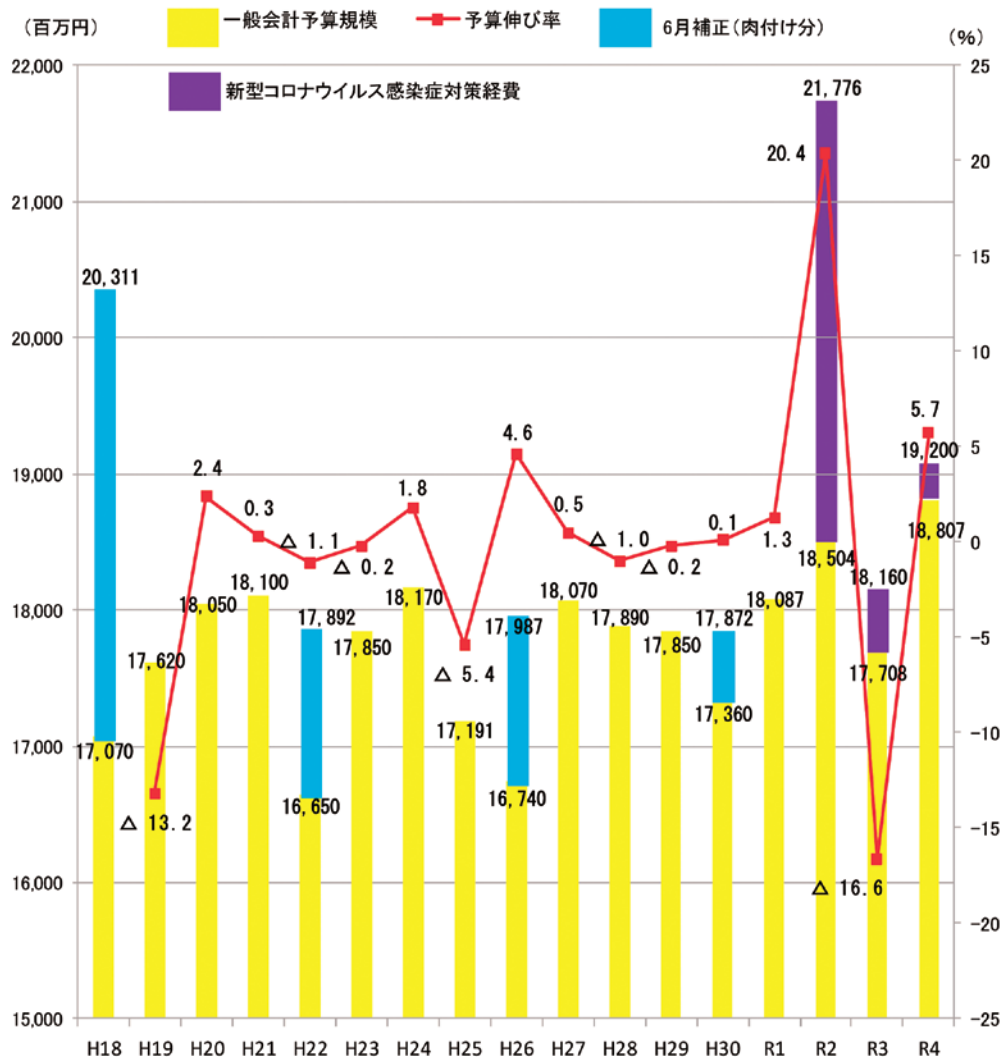
全ての議案名と結果は宇陀市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせ下さい。

Pick up 1

令和4年度宇陀市一般会計予算が成立しました
前年度比10億4千万円増の192億円

金剛市長就任2回目の予算が成立いたしました。前年度は、奈良県から財政重症警報を出されるなどしたため投資を控える緊縮型予算でしたが、令和4年度は脱却に向けて、高原文化都市宇陀を成長させる施策や持続可能なまちづくりを支える施策を優先した積極的に投資を行う方針に転じました。

一般会計予算規模等の推移



新しい事業が始まります
主な新事業は次の通りです

●若年層歯周疾患検診事業

若年層が、歯科医療機関を受診しやすい環境を作るために、20歳、30歳の市民を対象に無料の歯科健診を行います。定期的に歯科医療機関を受診する習慣を定着させることが目的です。

(事業費 30万2千円)

●重症心身障がい児等入浴支援事業

身体上不自由なため在宅での入浴が困難な重症心身障がい児に入浴サービスを行い、保護者の介護負担軽減と対象者の健康維持と福祉の増進を図ります。

(事業費 288万円)

●榛原健康増進エリア基本構想策定事業

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくりを推進するため、県・市まちづくり基本構想に基づく健康増進エリアの整備を目指すための構想を策定します。

(事業費 640万円)

●避難場所標識設置事業

市内の指定緊急避難場所に指定されている小中学校等に避難場所案内看板を設置します。

(事業費 124万7千円)



●生理の貧困支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、経済的な理由等で生理用品の購入が困難な女性に対し、生理用品を無償配布するとともに、各種相談窓口の案内を行い、様々な困難を抱える女性の支援につなげます。

(事業費 26万7千円)

●学校適正化推進事業

宇陀市学校規模適正化検討委員会の答申に基づき、宇陀市学校適正化基本計画の策定に向けて、各学校の具体的な適正化のあり方について審議し、一定の方向性を示します。

(事業費 218万7千円)

●宿泊施設民間活力導入可能性調査事業

宇陀市の宿泊施設のあり方を調査するため、「宇陀市周遊・滞在型観光ビジョン作成事業」を実施した結果、宇陀市において宿泊施設は必要との結論から、新たな宿泊施設を誘致するための可能性を調査します。

(事業費 1千179万2千円)

●スポーツ合宿・スポーツ大会等誘致支援事業

市内でのスポーツ合宿やスポーツ大会誘致の支援を行うことで、交流人口の増加と市内消費を促し、地域経済の活性化につなげるとともに、再度宇陀市を訪れるリピーターの増加を目指します。

(事業費 110万円)

Pick up 2

宇陀市でもサテライト
オフィスの設置が進め
られます

宇陀市では、令和5年6月のオープンを目指し、サテライトオフィス（名称：奈良サテライトオフィスうだ）の設置が進められます。

この度のサテライトオフィスは、市と連携協定を締結している大和信用金庫の旧榛原支店をサテライトオフィスとして整備し、地域経済の活性化及び高度な情報通信技術の活用による新たな起業・就労機会の拡大を図り、市内への移住促進に寄与することを目的としています。

宇陀市のサテライトオフィスは、『地方型サテライトオフィス』で、都市部に本社がある企業が、地方の遠隔地にオフィスを設けることで、地方における新たなビジネスのスタートや事業拡大が期待されます。また、市にとっても移住定住の促進や関係人口の増加、税収増などが期待されます。



こんな質問が出ました

質問 利用者が活用しやすくするため駐車場の整備が必要と考えますが、どうなっていますか。

答弁 駐車場については、サテライトオフィス近隣の民間駐車場を紹介させていただきます。

Pick up 3

平成榛原子供のもり公園に民間活力を導入します

平成榛原子供のもり公園において、公募設置管理制度（以下、「Park-IPF」という）を導入するにあたり、Park-IPFの特例措置である公園施設の設置基準（建ぺい率）の追加（現行2%、特例+10%）及び、設置等予定者を選定するための評価基準の決定、設置等予定者の選定を行う宇陀市公募対象公園施設設置等予定者選定委員会の設置について、本条例の一部が改正されました。

Park-IPFとは

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用されます。

こんな質問が出ました

質問 この制度のメリット、デメリットは何ですか。

答弁 民間の資金で、新たな施設を作っていたら、民間の創意工夫で、魅力的なサービスが行えるところです。ただし設置管理許可期間の特例が最長20年と長期に施設を管理していただきますので、事業者の選定が重要です。

Pick up 4

公の施設の指定管理者が決定しました

『宇陀市室生地域文化伝習展示施設』（担当課：地域振興課）の指定管理者が決定しました

- 指定管理施設：宇陀市室生地域文化伝習展示施設（愛称：あさざりホール）・室生公園あさざりの里

● 指定管理者：室生自治会

- 指定管理期間：令和4年4月1日から5年間（前期から引き続きになります）

『宇陀市宇陀松山会館』（担当課：商工業課）の指定管理者が決定しました

- 指定管理施設：宇陀市宇陀松山会館

● 指定管理者：宇陀市松山まちづくり協議会

- 指定管理期間：令和4年4月1日から5年間（前期から引き続きになります）



Pick up 5

新学校給食センターの建設について説明を受けました

旧野依小学校の跡地を活用して、令和6年度をめどに新学校給食センターを整備します。

- 子ども達に安全安心な給食を提供することを第一に、地産地消や食育の推進及び防災拠点としての機能を有した施設として整備します。
- 旧ランチルーム棟は災害時の避難場所、災害備蓄品の保管倉庫として有効活用します。

- その他の防災設備は防火水槽とマンホールトイレが設置されます。

こんな質問が出ました

質問 停電対策は考えているのですか。

答弁 自家発電機については費用面の課題もあり、予定しておりません。インフラが止まれば使用できませんが、非常食6千食（カレー）をストックしております。

質問 1日の調理能力はどのくらいですか。

答弁 1日2千食規模の調理能力があり、若干の調理能力の余裕があります。

市長と合同でロシアにウクライナ侵攻に対する抗議文を送りました

抗議文 2022年3月14日

ロシア連邦大統領

ウラジミール ウラジミロヴィチ プーチン 閣下

貴国によるウクライナへの軍事侵攻が、ウクライナ国民の命を奪い、多くの国民を危険にさらす暴挙に、強い憤りを持って抗議する。

これは、明白に国連憲章及び国際法に違反し、全ての基本的人権の基礎となる全世界の人々が恒久 平和の下に安心して生きる権利を大きく侵害する行為であり、国際平和の秩

序、安全を脅かすものであり断じて容認できない。

宇陀市では、近隣自治体と協力して、あらゆる戦争の廃止と、核兵器の廃絶、世界平和に向けて、非核平和都市を宣言し、平和な社会の実現を世界に訴え続けている。

貴国に対し、今般のウクライナへの軍事侵攻に厳しく抗議し、ロシア軍の即時撤退と一刻も早い平和的解決を強く求める。

日本国 奈良県

宇陀市長 金剛一智

日本国 奈良県

宇陀市議会議員 山本裕樹

聞いてみたいな

こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



まつうら りくこ
松浦 利久子
議員

電波と安心な暮らしについて

質問 第5世代移动通信システム（5G）が開始されています。総務省において表題のテーマでセミナーが開催されています。宇陀市もオンラインセミナーに参加されたとのことですが、内容をお聞きます。

答弁 電波利用の拡大について、電波が人体へ与える影響の防止について等の説明、安全性について講演がありました。

質問 安全性についてお聞きます。

答弁 人体に対する安全性の基準の指針では、身体表面の温度上昇に関連する指標を用いて十分な安全率をもった基準値が設定されており、安全性の確保ができていたとの説明を受けました。

質問 国が推奨している通信事業ですが、アンテナの乱立で景観を損ねたり、身体への安全性が確保できていないのではないかという市民の方の声を聞いています。

そこで携帯電話等中継基地局の設置や4Gアンテナを5Gアンテナに置き換え等の設置工事に関して事業者から

地域住民に対して計画概要や安全性などについて十分に説明を行う等の旨を記述した条例制定のお考えはありませんか。

答弁 総務省では設置にあたり、基準値に適合していることの確認が行われています。事業者に対し、トラブルがないように配慮をお願いしますと呼びかけていますが法令では根拠づけられていません。デジタル化を進めていく上で電波事業者の協力も必要不可欠であることから設置に向けた基準を高めようとしてデジタル化が衰退する恐れがあることも考えられますので、条例制定は今のところ考えておりません。

マイナンバーカードの
利便性について

質問 市立病院ではマイナンバーカードを保険証として使用可能ですが、広報うだ12月号では機械のトラブル等も予測されるので念のため保険証の持参をお願いされています。現在もその状況に変わりありませんか。

答弁 トラブルは発生していませんが厚生労働省のホームページにも同様のお願いが掲載されていることで当院でも同様に患者様をお願いしていますが、マイナンバーカードのみでも利用可能です。

●その他、接遇の向上について質問しました。



みやた みき
宮田 美紀
議員

空き家対策について

質問 空き家の実態と件数、所有者不明の空き家の件数をお聞きます。

答弁 宇陀市全体で726件の空き家があり、そのうち67件は所有者不明の空き家となっております。

質問 今までに寄せられた苦情の内容と件数をお聞きます。

答弁 空き家に付属する建築物に関するものや敷地内及び空地の雑草の繁茂、景観を損なうもの、放置する事が不適切なものなど様々ですが、今年度は約60件の苦情がありました。

質問 危険空き家について、自治会や近隣の方への情報はどうのように共有しているかお聞きます。

答弁 空き家等の当初の抽出には地域の情報、自治会等の情報も含めており、そういった意味では情報共有はできていると認識しています。また、現在解体撤去に向けて進めている案件もあり、地域との情報共有・連携は欠かせないものと認識しております。

質問 空き家を予防する取り組みとしてエンディングノートを活用している自治体もありますが、本市の考えをお聞きます。

答弁 エンディングノートはご自身が亡くなる前準備として、周りの方に自分の意志や判断を尊重していただくために作成するノートです。遺言書等とあわせて作成することで、空き家は少なくなるのではないかと考えます。書き方の講習については、重層的支援体制の中で検討しているところです。

質問 区域外就学の取り組みと短期利用の考えをお聞きます。

答弁 令和3年度は20人の児童生徒の区域外就学を認めています。短期間の移住体験による学校見学や体験については担当課や学校長と相談しながら対応していきたいと考えています。

質問 空き家問題に対する市長の考えをお聞きます。

答弁 空き家は大事な財産であり、自治会や地域の情報を得ながら、空き家の対策計画に沿って取り組んで参ります。



いたに けんじ
井谷 憲司
議員

重層的支援体制整備事業の現状について

質問 少子高齢化、人口減少が進む中で、個人や、家族が抱える問題が多様化しています。そうした相談に対し、「たらい回しにしない」、「断らない」という相談体制を目指し、縦割りの行政組織から横断的で密な連携のもと、令和3年4月よりスタートした「重層的支援体制整備事業」の現状についてお尋ね致します。

答弁 健康福祉部の各課と社会福祉協議会の担当課だけでは解決できないケースを医療介護あんしんセンターに配置したコーディネーターに連絡し、関係課を集め、『重層的支援チーム会議』にて支援の方策について検討、役割を決めて支援して、さらには新たに必要となる制度の在り方など検討しています。早期に制度やサービスに繋がることができ、また、担当者のみで対応に苦慮していたケースについても新たな支援に繋がっています。

子ども家庭総合支援拠点事業の現状について

質問 特に子どもが関係する課題に

特化した相談に対応するため、令和3年11月にスタートした『子ども家庭総合支援拠点事業』の現状についてお尋ね致します。

答弁 この拠点は、これまで行ってきた家庭児童相談室の体制を強化する目的も併せ持っています。これまで担当者一人や一つの機関で抱えていたことをチームで検討していける事、違った視点で支援を考えていける事が強みで、また、定期的に担当者が顔を合わせるにより、お互いの相談のハードルが下がり、重症化するまでの早い段階でのチームの関わりが期待できるようになっています。

質問 それぞれの事業のご所見を市長にお尋ね致します。

答弁 『重層的支援体制整備事業』は、奈良県内12市の中でいち早く取り組みを始めました。全年代の複合的課題を支援するための相談、そして、地域が共に生きる共生社会のまちづくりに取り組むもので、『子ども家庭総合支援拠点』は、子どもや保護者に対し手厚く支援する仕組みと理解しています。宇陀市中期基本計画の福祉分野においても「オール宇陀で取り組む」こと、特に未来ある子ども達の健やかな成長、誰一人取り残さない相談体制、困った方の居場所づくり、あらゆる面で市民の誰もが幸せと思える社会づくりを推進して参ります。



かめい まさゆき
亀井 雅之
議員

宇陀市の観光振興と 観光戦略について

質問 平成30年策定の『宇陀市観光基本計画』では、3つの基本目標を掲げ、令和5年3月までの5か年計画のもとに進められています。そこで、計画期間1年を残した現在、これら基本目標の達成度とこれまでの取り組みについて伺います。

答弁 国が観光立国を宣言するなか、地方自治体も経済活性化施策として観光振興を宣言したことを踏まえ、観光とまちづくりが融合した「観光まちづくり」を展開することを目的に『宇陀市観光基本計画』を策定しました。基本目標の一つである観光客を迎え入れるおもてなし力の向上では、観光ボランティアガイドの皆さんの活動を通して、宇陀の魅力を紹介していただいています。次に、交流人口の増加による地域の活性化がもたらす地域愛・郷土愛の醸成では、「かぎろひを観る会」や「菟田野秋祭り」等の伝統行事や各種イベントへの参加があります。

また、観光交流人口の増加による経済効果の波及では、新型コロナウイルスの感染拡大により、観光客が

減少傾向にありますが、宿泊施設利用補助や観光関連施設の入場料等の補助の対策をとっています。

質問 従来の観光情報発信に加え、スポーツツーリズムや観光情報・観光案内等に特化した、新たな観光ホームページの立ち上げによる常に新鮮な観光情報を発信する可能性について伺います。

答弁 観光情報の整理と検索の利便性を向上させるため、令和3年度内に観光情報ホームページのリニューアルを行います。そこでは、観る・遊ぶ・食べる・泊まる・買う等をキーワードに、観光客の目的に応じた検索を可能としています。

また、奈良県出身のタレントが出演する「観光プロモーション動画」を配信して、市の観光スポットや市の良さをPRします。

質問 市を売り込む観光事業全般のほか、スポーツツーリズム推進室や観光施設指定管理業務等を担う観光課の業務体制は万全ですか。

答弁 休日勤務も多く、重要かつ多忙な業務を受け持つ観光課にあつて、仕事量と職員数のバランスを欠いていると感じています。そこで、令和4年度に観光事業に特化した地域おこし協力隊員を募集し、人的な増員と観光協会等との連携強化を図っていきたいと考えています。



たなか たけし
田中 剛志
議員

新型コロナウイルス感染症 の対応について

質問 第6波の宇陀市における感染者数・感染拡大状況について

答弁 令和4年に入り、感染が拡大し1月は189名、2月470名、3月21日現在で211名の感染報告がありました。今までに新型コロナウイルス感染症で死亡したのは6名で、うち2名は第6波以前の死亡者で4名は第6波の死亡者です。年代別に、70代1名、80代3名、90代2名です。

質問 宇陀市（健康増進課）の情報収集について

答弁 宇陀市の医師会と連携し、市内の医療機関において陽性と診断された場合は、ご本人の同意を得て医療機関から連絡をいただいています。連絡をいただいた方には、療養期間など自宅療養についての説明や市の支援サービスをご案内しています。しかし、市外の医療機関において陽性と診断された方については、ご本人から連絡がない限り把握する方法はございません。

●意見

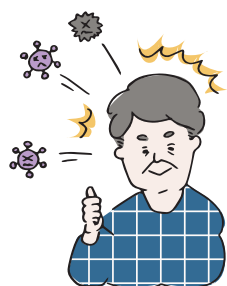
原則、新型コロナウイルス感染症については、県の保健所が対応しますが、保健所の業務ひっ迫で連絡が遅くなる場合があります。宇陀市でも独自支援が提供されますので、市外の医療機関で感染がわかった場合は、ぜひ健康増進課（0745-8213692）へ連絡してください。

質問 感染が疑わしい場合について

答弁 症状がある場合は、かかりつけ医に電話で相談して指示に従ってください。かかりつけの医療機関がない場合は、市役所健康増進課、又は県の相談窓口（0742-2711132）に問い合わせてください。

質問 県との連携強化について市長のご見解は

答弁 自宅療養を医療と生活の両面から、どのようにお支えるかが直近の最重要課題であり、市長会からも医療、保健所機能強化、生活支援については早急に一体となつて対応すべきであると要望書を提出しておりますし、今後も続けてまいります。





やぎ かつひこ
八木 勝光
議員

プラスチック資源循環促進法の施行に伴うごみ行政の推進について

質問 宇陀市におけるごみ行政全般の現状と課題はどのような状況ですか。

答弁 令和2年度のごみ処理量は9684tで、合併当初は減少していましたが、ここ数年は横ばい状態となっています。ペットボトルの収集は年々増加しています。

質問 人口減少にも関わらずごみ処理量が減らないのは何故だと考えていますか。また、市としての取り組みはどのような状況ですか。

答弁 人口減少はしても世帯数の減少が少ないこと、ネット注文での過剰包装などが要因と考えています。市の取り組みとしては、生ごみ処理機の購入補助（累計で300台以上）、資源ごみの集団回収助成事業により10年間で約5400tの資源ごみを回収しています。

質問 ごみの総量を減らすには、全体の4割を占める生ごみの減量と年々増加するプラスチックごみへの対策

が大切です。4月から新法が施行されますが、市のプラスチック廃棄物の回収、再資源化の取り組みと課題は何ですか。

答弁 現在、市ではペットボトルの分別回収を行い、プラスチックトレイ等は市内の事業所において回収ボックス等で回収してもらっています。新法では、これまで可燃ごみであった包装容器以外のプラスチックについてもリサイクルの対象とされます。市としては、資源化の取り組みを更に進めるため、市内事業者とも連携して新たな分別収集でリサイクルの検討が必要と考えています。

質問 現行のごみ処理施設の耐用年数から数年後には新清掃工場の整備が必要だと思いますが、この機会に新たなプラスチック資源回収、循環の計画を盛り込むことが肝要だと考えています。

答弁 現在、市内に2カ所のごみ処理施設があります。令和4年度に更新に向けての調査を行います。情勢的にもタイミングとしては更新時期に合わせて整理すべきものを調整していくのが今後の課題と考えています。

●その他の質問
図書館サービスの充実について



いどい えまさお
井戸家 理夫
議員

医療、介護、福祉に携わる職員等の安全確保について

質問 昨年12月17日、大阪市北区の心療内科クリニックの入り口にガソリンがまかれる放火事件が発生しました。この放火により、診療所の中にいた医師やスタッフ、患者あわせて実に26人もの尊い命が犠牲となりました。

また、埼玉県ふじみ野市で1月27日に発生した立てこもり事件では、在宅医療に従事する医師らが対象になりました。

容疑者の男性は、自身の母親の死亡から約30時間後、医師ら在宅クリニックの関係者7人を自宅に呼び出し、母親の心肺蘇生を要望し、断られると、散弾銃を医師にむけて発砲し、医師は犠牲になりました。さらに同行した理学療法士にも重傷を負わせ、約11時間にわたって立てこもった後に警察に逮捕されています。

介護、福祉など人の健康や生活に直接携わる職員は関係者の直接的な不満を受けとめることが多いため、万が一の時に、身を守るための安全対策を再度確認する必要があると考えます。

また過去には、平成25年7月、宝塚市役所1階の市税収納課へ納税相

談のため訪れた男性が、事務所に火炎瓶を投げ入れ火災が発生し、約700名が避難、職員4名と来庁していた市民2名の計6名が負傷したという放火事件も発生しています。訪問時のみならず、市役所等施設内においても安全を確保する必要があると思います。職員や医療、介護、福祉に携わる方々の安全確保すること、とりもなおさず市民の皆様にも安心安全を提供出来る体制を作ることになると考えます。市の考えをお聞かせください。

答弁 昨年末に発生した大阪市北区での放火事件や埼玉県ふじみ野市での立てこもり事件、続けて起こった衝撃的な事件であります。事前に食い止めることができなかったのか、非常に残念で悲しい事件だと思っています。議員から質問いただいた職員の安全確保はもちろんのこと、来庁されている市民の安全を一番に考え行動できる、そういった訓練は災害訓練と同様に必要なことだと痛感しているところです。宇陀市内で、このような事態が起きることも想定していかなければなりません。まずは、不測の事態に備え奈良県警等、関係機関と協力しながら、模擬訓練やマニュアル作りに取り組んでまいりたいと思います。そして一方では、事態を生まない努力や対策も必要であると考えます。悲惨な事件を起こすまでに、寄り添える体制づくりに取り組んでまいりたいと思います。



かつい たろう
勝井 太郎
議員

保険適用による負担増に対する不妊治療助成について

質問 令和4年度から不妊治療を取り巻く環境が大きく変わります。今までは、健康保険が適用されずに自己負担で治療を受けていた方々に年齢制限を設けて1回あたり30万円を上限として助成を行っていました。令和4年4月以降は人工授精など高度な不妊治療についても保険適用されることとなり、今まで行われていた助成制度は終了します。

保険適用によって不妊治療を望む方々への負担が軽減されることが期待される一方で、自己負担が大幅に増える可能性のある方がいることも指摘しなければなりません。

なぜなら、保険適用拡大に不妊治療の特性が反映されなかったからです。不妊治療には、それぞれの医療機関が妊娠率を上げるために積極的に新しい技術を導入してきた歴史があり、一律の標準的な治療とは異なります。そのため、今回保険適用とされた治療は全体の1割程度にとどまり、保険適用の恩恵を受けることができないと指摘されています。

鳥取県では、独自に医療機関に対してヒアリングを行い、9割の治療

が保険適用から外れることを確認しています。これを受けて鳥取県は県独自の助成制度を設けて、今までと同じように保険適用されない、自由診療の不妊治療に対して1回上限30万円の助成を行うこととしました。市町村でも鳥根県松江市や神奈川県横須賀市が独自の助成を行うべく検討を始めています。

宇陀市でも状況を把握したうえで、不妊治療に対する助成を拡充して、住民の負担を軽減するべきではないでしょうか。

答弁 国、奈良県は保険適用に伴って、助成制度は廃止するとしています。今後については県内12市で情報共有や調整に努めてまいります。

質問 財源の事もあるので、この場ですぐに行うと言えないことは理解しています。他市と調整が必要であることも承知しています。ただ、保険適用開始から先進医療が整理されて高額すぎる自己負担が抑えられるようになるまで一定の年月がかかります。子どもを産むということは年齢的なタイムリミットが存在します。数年の制限措置でもいいのか、独自の助成を行えないものでしょうか。

答弁 他市の動向も見ながら、状況を把握に努めてまいります。



きくおか ちあき
菊岡 千秋
議員

全国水平社創立百周年・人の世に熱と光を求めた百年の検証

質問 今年は全国水平社創立百年の記念すべき節目の年に当たります。

これまで部落差別の解消に献身的に取り組んでいただいた行政・教育・運動の全ての関係者に感謝申し上げ、水平社の目指した理念である「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と願求した思いに近づくことができたのか、これまで「運動・教育・行政」三者がその使命を果たしてきたのかを100年経た今日における評価と課題についてお答え下さい。

答弁 運動の前進によって、同対審答申が出されてから、住環境の改善には一定の成果をみました。

事業と並行して取り組まれた、人権教育や啓発はたくさんの方々の取り組みにより差別意識の解消の前進を見たところとらえています。

また部落差別だけでなく、障がい者差別、女性差別、LGBTQなどのあらゆる差別への正しい認識が根付いてきました。

そして「部落差別解消推進法」をはじめとした法律や条例の整備も図

られてきました。

質問 これほどの多くの方々の長い年月での取り組みにも関わらず、各地で差別事件が報告されます。宇陀市でこれまで惹起した差別事件の状況はどうでしょうか。

答弁 差別落書きが3件、差別発言が2件、同和地区問い合わせが2件発生しています。

質問 水平社百周年の記念すべき年の節目にふさわしい取り組みはお考えですか。

答弁 職員研修の強化や、水平社博物館現地研修などを考えています。

質問 これまでの、百年の取り組みと経験を活かし、今後どのように施策や啓発・教育に取り組んでいかれますか。

答弁 国連で採択された2015年から2030年度までの15年間のSDGs「我々の世界を変革する、持続可能な開発目標」「誰一人取り残さない」の考えと「人間を尊厳することにより人間解放を目指す」水平社の考えは、価値観と思想は底流であり通じるところがあり、誰もが尊重される共生のまちづくりの実現に向けて、しっかりと進めてまいります。



ひろざわ たかひで
廣澤 孝英
議員

中和津道路について

質問 宇陀市にどのような用途でどのような道路が必要で道路整備によっての波及効果があるのか市長の見解を伺う。

答弁 昨年、国道165号が、近畿地方整備局・中部地方整備局・奈良県・三重県それぞれが策定した、道路交通計画に、中和津道路が位置付けられ、宇陀市の名前もその計画の中にしっかりと位置付けられています。広域道路計画に位置付けられるというのは、本当に大変なことです。国道165号の整備促進によりまして宇陀市のまちづくりにも、強靱な背骨ができ、期待をしているところでもあります。道路整備により、宇陀市への懸案事項である企業立地に弾みがつくものと期待をしています。

道路の規格は全然違いますが、京奈和自動車道の整備が進むにつれて、その沿線に企業の立地も進んでいるのを見てやはり、経済の活性化につながると期待します。また、大規模災害が起こった時に、物資を運ぶ救援ルートということで、様々な面で宇陀市の発展に期待されるところであります。広域道路に指定されたと

いうのは、本当に大変なチャンスだと思います。市として、まず、国・県に、ルートの具体的な計画を要望していききたいと思っています。ルートが決まれば、将来の道路整備を見越して、あらかじめ、まちづくりの準備も進んでいきますので、早く具体的な計画を立てて頂きたいということ、を、国・県に要望していききたいと思っています。いずれにしましても、中和津道路の効果を最大限に発揮させるという意味で、国・県と連携し協力体制を整えて、取り組んでいきたいと思っています。

子育て支援について

質問 子育て支援の拠点がなく榛原の今後のこども園設置や子育て支援施設整備について

答弁 第2期子ども子育て支援事業計画の中では、子育て支援センター「すくすく」と共に、地域の身近な場所ですべて子育てに関する相談、助言などの支援を行います。こちらは、地域子育て支援拠点事業として、各地域に配置するということを目指しています。この地域子育て支援拠点につきましては、こども園がその拠点になると位置付けていますので、榛原地域におきましても、今後、整備される認定こども園において、地域子育て支援拠点を設置していききたいと考えています。



にしおか ひろやす
西岡 宏泰
議員

ツーリズムについて

質問 昨年12月総務産業常任委員会において金剛市長はヘルスツーリズムを断念されました。なぜ断念されたのか。

答弁 宇陀市のヘルスツーリズムについては、散策道や温泉、観光施設、市立病院等をうまく活用して、宇陀市への誘客を考えていたが、健康がキーワードになり、医療とツーリズムを合わせ合わせることは、なかなか難しいことがわかり、具体的な案は持っていないませんでした。そのため、現在、宇陀市で展開しているスポーツツーリズムをまずは一生懸命取り組むべきと考え、いったんやめることとしました。

●意見

急遽の市長のお言葉に驚きました。種を撒かれ、水をやり、開花まで見守って頂きたかったというのが本心です。進む勇氣・留まる勇氣・撤退する勇氣が必要ですが、悔いを残さないように今後努力して頂きたい。

質問 スポーツツーリズム、宿泊機能の強化をどのように進めていこうと考えているのか。

答弁 スポーツ大会・合宿・イベントなどへの参加や観戦、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむスポーツツーリズムについては、地方誘客による交流人口の拡大、幅広い関連産業の活性化や関連消費の拡大など、地域活性化に大きく寄与する可能性があると考えています。

また、宿泊施設の強化については、ポストコロナ時代の観光戦略も視野に入れ、新たな顧客層にも対応した宿泊施設も必要になりますが、スポーツツーリズムの推進や周遊型観光を図るうえで、美榛苑を中心とした市内の宿泊施設と連携を強化します。

●意見

室生寺付近にも民間の宿泊施設があります。菟田野には、ひらら等もあり大宇陀には、あきののゆ・椿寿荘があります。宇陀市全体の滞在型観光にも力を注ぐ必要があると考えます。

質問 宿泊施設立地促進補助金を頂けるような事業展開はあるのか。

答弁 補助の要件については①ホテル・旅館の新築であること、②客室数が30室以上、または収容人数が百人以上であること、投資額が3億以上で要件をすべて満たすことが必要条件となっています。





ただよしろう
多田 與四朗
議員

2年間の市政運営を振り返って

質問 就任前と比べ就任後の2年間で振り返っての感想と宇陀市の現実を知って公約の修正変更はあるのか。

答弁 (市長) 大きな違和感はないが、現場で深く関わっていると様々な課題が山積している。過去からの課題を整理しないと次に進めない。コロナ対応、施設の経営、組織マネジメント、人口減少対策など待ったなしで就任前の想定以上にやらなければならぬことが多いと正直思う。公約については大きな変更はないが、新たな視点としてDXの推進やカーボンニュートラルの問題を加えて公約を着実に進めていく。

質問 財政重症警報から脱却の道筋は立ったのか、今後の県との見通しについて

答弁 昨年7月発行の経済誌の財政健全度ランキングワースト1の記事は令和元年度の財政指標によるもので令和2年度は改善が図られている。また、県との財政健全化の推進に関する協定の締結により、無利子貸付や繰

上償還に必要な補償金の支援制度で5億8千万円の支援が決定している。今後は、財政調整基金の繰入額の縮減や臨時財政対策債を除く市債発行額を20億円以下に財政規律に配慮しながら財政運営を行い経常収支比率を5年間で5ポイント以上の改善をめざす。市独自の取組としては第4次行革大綱に基づき人件費の抑制、職員数の適正化、業務改善により時間外手当の削減等に取組んでいく。

質問 企業誘致推進室、土地利用推進室の進捗状況、駅前デザインの見直しについて

答弁 市内のビル管理会社や不動産業者との業務連携による誘致活動により5件の成果を上げている。また、現在は榛原駅前交流施設、大和信用金庫旧榛原支店のサテライトオフィスの設立を準備中。市街化調整区域内の地区計画の設定に向けて県と協議中。榛原駅前のデザインの見直しは、県の特定プロジェクトとしてまちづくり基本計画の中で検討を進めているところ。

●他に、行政のデジタル化の進捗状況と課題について、また、合併後15年のデジタル化による行政の効率化と市民の利便性を確認。また、金剛市政の公約実現に不可欠の財政の安定と財源の見直し、併せて組織の運営と人材配置・人事異動の考え等について率直な考えを質しました。



うえだ のぼる
上田 徳
議員

令和4年度予算編成における重点事業に対する市長の方針

質問 令和4年度の予算編成で「ひかりもの事業」は？

答弁 第2次宇陀市総合計画・中期基本計画に基づき、6つの目指すまちの姿ごとに高原都市「宇陀」を成長させる施策や持続可能なまちづくりを支える施策を優先した予算を計上した。主なものは重症心身障害児等入浴事業、移動診療車運営事業、県市連携の榛原健康増進エリア基本構想策定事業、宇陀魅力体験施設運営事業、特定農業振興ゾーン推進事業、榛原駅前交流施設整備事業、サテライトオフィス設立事業、学習意欲の増進事業、新学校給食センター建設事業、ごみ処理施設整備の方向性を検討する調査委託事業、Park PFI制度を活用する民間活力検討事業、自治体DX推進事業などが挙げられます。

質問 榛原健康増進エリア基本構想策定支援業務について、何の基本構想か？

答弁 健康や福祉に繋がる整備について県補助を頂いて構想を練ります。

質問 宇陀市が抱える施設改修や運営方法の改革、改善等の長期計画に対する予算の配分と今後の取り組みについて、ごみ広域化の今後の考え方と方針、美榛苑の後継事業に対する考え方、市立病院の経営改善計画に予算措置、さんとぴあ榛原の経営計画の検討機関の設置等の予算、まちづくり連携協定について、今後の方針と考え方は？

答弁 ごみ広域化については、曾爾村、御杖村などと協議をしながら、スケジュールを含めて考えていきます。

美榛苑の後継事業については、民間活力を導入した新しい宿泊施設の可能性を検討するための調査を行い、誘致に向け早急に取り組みます。

市立病院については、総務省から「持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化プラン」が示されたので、次年度に経営改善計画を策定し、着実に実行していきます。

さんとぴあ榛原は非常に厳しい状況であり、あらゆる観点から調査を要するため、内部での協議はもちろんのこと、経営改善策など第三者の意見も参考にしてアドバイスをしたい。

県と市が4地域の基本計画の策定に伴う意見交換会を各地域で行っており、次の個別協定の締結を目指しています。一部先行している事業もあるが、締結後事業が進みます。

きかせて！あなたの未来

No. 25

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



少年野球から僕の野球人生は始まりました。
中学も毎日野球をしたくて、僻地で野球部がなかったので、野球部に入りたくて、榛原に引っ越してきました。
高校野球3年間で学べた事は沢山あります。最初は「自分さえ上手くなって大学から推薦がくればいい」という考えで練習していました。
ですが、1年生の夏の大会で試合にでる事になり、監督さんや先輩方にお世話になったり、助けてもらったり、勝たせてもらったりするうちに、「恩返しをしたい」と思うようになりました。
先輩方の役に立つ選手になりたい！と家でも自主練習を怠らず、試合でも活躍でき恩返しできました。
監督さんから主将に指名され、日々厳しく指導していました。よく怒る自分についてきてくれた部員達を勝たせてあげたいと思うようになりました。
野球を通して『誰かのために頑張る、頑張れる事がいかに大切か』という事を学びました。
この経験から、みんなのために命をかけて働く消防士になりたいと思うようになりました。競争率が高く難しいと承知しておりますが精一杯挑戦していこうと思います。大学でも野球を続けます。ずっと応援してくれている両親のため、お世話になった方々のためにも野球も勉強も頑張っています。

にしまと みおと

西俣 海音さん（榛原 大学1年生）

次回 6 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
			6/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (議案提案)		本会議 (議案質疑)			
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会	常任委員会	予算委員会			
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		本会議 (討論・採決)	
26	27	28	29	30		
				予備日		

10：00 開会（日程・時間等変更の場合があります）

募集します！

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真を添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

編集後記

編集委員
井谷 憲司

5月5日は『端午の節句』です。端午とは、『最初の午(うま)の日』といった意味で、『端』には、最初や、始めという意味があるそうです。中国の古い暦では、十二支の寅(とら)から1月が始まり、午の月は5月。午の月の最初の午の日、午は五とも読めることから、5月5日が端午の節句、『節句』は季節を表します。『端午の節句』は、中国から伝わった風習で、古来から男の子の健やかな成長を願って行われる行事です。また、5月5日は『こどもの日』でもあります。『こどもの日』は、昭和23年(1948年)に制定さ

れた国民の祝日で、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことが趣旨とされていて、こどもの日は男女関係なく、すべてのこどもが対象となる日で、それぞれ、別の行事になります。って、「そんなこと知ってるよ。」と思われる方も多いと思いますが、コロナ禍になって3回目の5月。季節は淡々と流れ、過ぎていきます。閉塞感に包まれる中でも、少し立ち止まり、ちょっとこんな事も考え、深呼吸して次へ進んでいくような気持ちを持ちたいと思いました。

お問い合わせ（議会事務局）

電話 0745-82-5771

IP電話 0745-88-9082

FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<https://www.city.uda.nara.jp/>